

データヘルス計画書 - 見直し計画 -



平成 2 8 年 3 月
川 西 市

-目次-

データヘルス見直し計画の骨子	
1.データヘルス見直し計画の目的と背景	P 1
2.データヘルス計画にて判明した課題と施策等取組状況	P 2
(1)判明した課題	
(2)データヘルス計画書に記載したデータの最新データ(抜粋)について	
(3)施策一覧と平成27年度の実施状況	
3.計画の評価について	P 8
4.平成28年度に行うべき主な施策	P 8

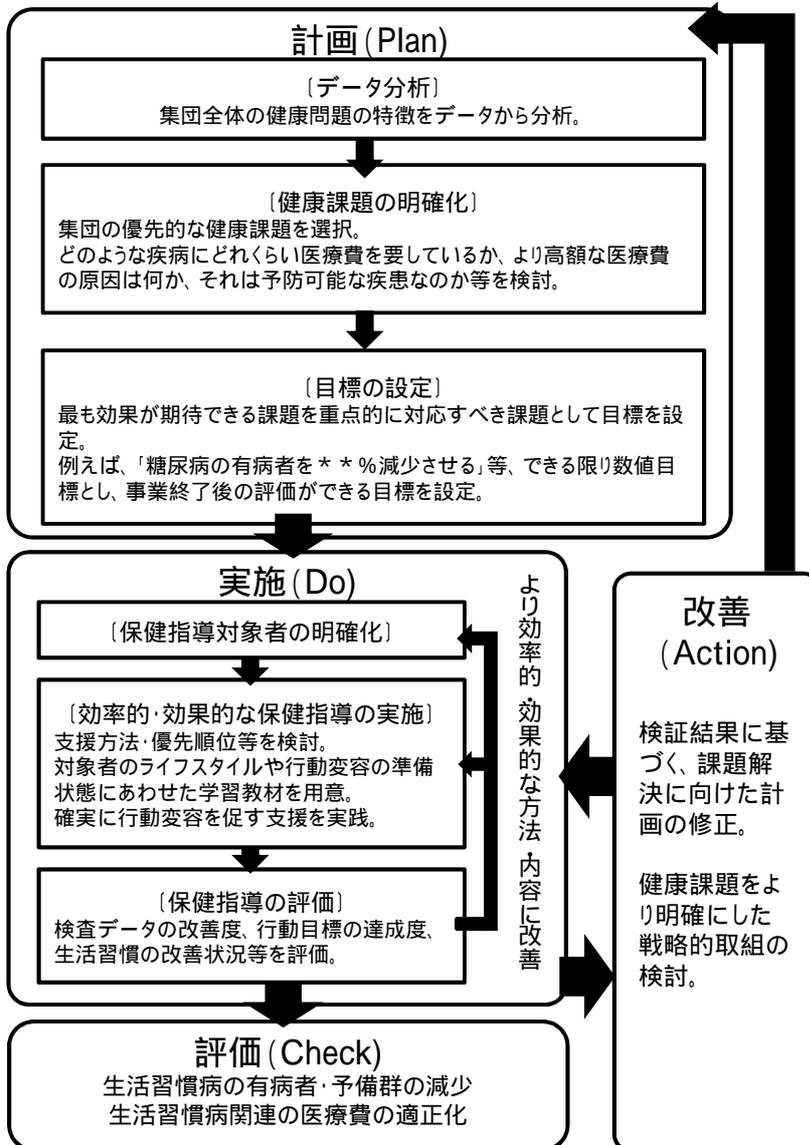
データヘルス見直し計画の骨子

1. データヘルス見直し計画の目的と背景

データヘルス計画とは、特定健診およびレセプト等を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。(図表)。

本データヘルス見直し計画(以下「見直し計画」とする。)は、平成26年度末(平成27年3月)に策定したデータヘルス計画(図表)の実施状況の評価、また平成27年度中に実施した医療費分析結果に基づき、保健事業の計画、目標値の見直し等を主な目的とする。

(図表) PDCAサイクルに沿った保健事業



出典:標準的な健診・保健指導プログラム[改訂版]

(図表)川西市データヘルス計画書イメージ(平成27年3月策定)



川西市ホームページにて公開中

2. データヘルス計画にて判明した課題と施策等取組状況

(1) 判明した課題

データヘルス計画にて判明した課題を以下に示す。

- 【課題1】 若年層の特定健診受診率が低い状態であるため、若年層の受診率向上に向けた取り組みが必要となる。
- 【課題2】 LDLコレステロール値が県下で最も高い状態であるため、LDLコレステロールの危険性、改善方法を広く市民に周知することが必要となる。
- 【課題3】 特定保健指導の利用率がまだ低い水準であるため、特定健診だけでなく保健指導を受けることの大切さを市民に周知する必要がある。
- 【課題4】 前期高齢者の割合が多い状況の中、一人当たり医療費はかなり抑えられているものの、高齢化が進み医療費の増加が見込まれるため、さらなる医療費削減への取り組みが必要となる。
- 【課題5】 「脂質異常症」に係る入院及び外来の医療費が同規模自治体よりも高いため、その危険性、改善方法を広く市民に周知することが必要となる。
- 【課題6】 運動習慣のある人が県平均より高いのにも拘わらず、20歳時体重から10kg以上増加している人が、県平均を上回っているため、食生活に関する情報提供及び効果的な保健事業を実施することで食生活改善の意識づけを図る必要がある。

(2) データヘルス計画書に記載したデータの最新データ(抜粋)について

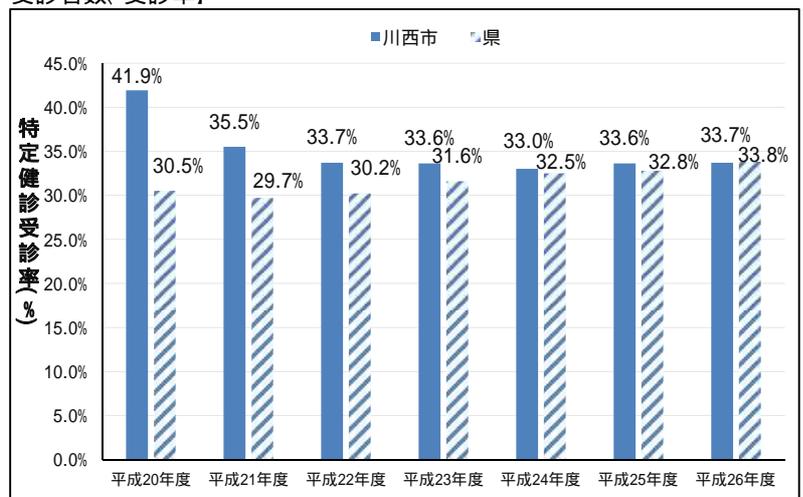
データヘルス計画書に記載されたデータは、平成25年度までのものである。平成26年度のデータについては、データヘルス計画に基づく施策が反映されたものではないが、本市の状況を把握するための参考データとして記載する。

特定健診受診率

平成26年度に初めて、特定健診の受診率が県の平均を0.1%下回った。依然として若年層での受診率の低さが全体の受診率を押し下げる要因となっている。

データヘルス計画書P3【表2 特定健診対象者数、受診者数、受診率】

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診率 (県平均)(%)
平成20年度	28,872	12,100	41.9%	30.5%
平成21年度	29,002	10,286	35.5%	29.7%
平成22年度	28,839	9,711	33.7%	30.2%
平成23年度	29,009	9,734	33.6%	31.6%
平成24年度	28,997	9,561	33.0%	32.5%
平成25年度	28,929	9,729	33.6%	32.8%
平成26年度	28,654	9,650	33.7%	33.8%



メタボ該当者状況

前年度と比べて平成26年度についても順位や割合はほとんど変わっていない。

データヘルス計画書P4【表4 メタボ予備群(特定健診の腹囲の値が基準値を超えた人のうち他のリスクを1つ持つ人)】

順位		第1位		第2位		第3位	
検査項目		高血圧		脂質異常		高血糖	
		川西市	県	川西市	県	川西市	県
割合	平成24年度	5.8%	7.0%	2.2%	2.7%	1.0%	0.7%
	平成25年度	5.6%	7.1%	2.5%	2.8%	0.8%	0.6%
	平成26年度	5.7%	7.0%	2.2%	2.6%	0.8%	0.6%

KDBシステム「地域の全体像の把握」より(26年度のデータ抽出時点:平成28年2月)

データヘルス計画書P4【表5 メタボ該当者(特定健診の腹囲の値が基準値を超えた人のうち他のリスクを2つ以上持つ人)】

順位		第1位		第2位		第3位		第4位	
検査項目		血圧+脂質		血糖+血圧+脂質		血糖+血圧		血糖+脂質	
		川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県
割合	平成24年度	5.6%	7.6%	4.4%	4.2%	2.6%	2.6%	1.1%	0.9%
	平成25年度	6.1%	7.9%	4.2%	4.2%	2.3%	2.5%	0.9%	0.8%
	平成26年度	6.4%	8.0%	4.2%	4.6%	2.5%	2.4%	1.0%	0.8%

KDBシステム「地域の全体像の把握」より(26年度のデータ抽出時点:平成28年2月)

有所見者状況

前年度と比べて平成26年度についても順位や割合はほとんど変わっていない。

データヘルス計画書P5【表6 特定健診結果で基準値を超えた検査項目とその割合】

順位		第1位		第2位		第3位	
検査項目		脂質(LDL)		血糖(HbA1c)		血圧(収縮期)	
		川西市	県	川西市	県	川西市	県
割合	平成24年度	64.4%	57.4%	53.8%	55.0%	44.0%	47.4%
	平成25年度	62.6%	58.5%	58.0%	51.9%	42.6%	46.4%
	平成26年度	62.9%	58.0%	58.3%	56.4%	43.5%	46.8%

KDBシステム(様式6-2~7)より(26年度のデータ抽出時点:平成28年2月)

要医療者の階層化

平成26年度についても重度である要医療者については女性の方が多くなっている傾向は変わっていない。

データヘルス計画書P6【表9 要医療者の階層化】

単位:人

要医療者(LDL180mg/dl以上) かつ医療機関未受診	40歳~49歳		50歳~59歳		60歳~69歳		70歳~75歳		合計		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
平成25年度	10	6	10	8	20	58	9	48	49	120	169
平成26年度	17	4	6	17	30	128	31	49	84	198	282

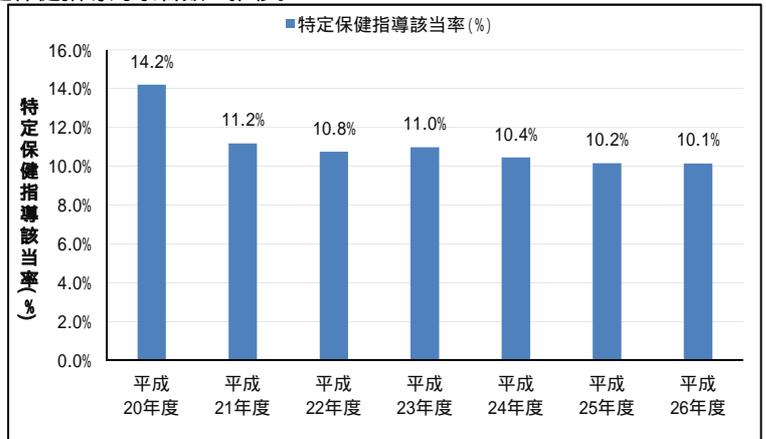
(26年度のデータは健診期間平成26年9月~平成27年8月診療分、レセプト期間平成26年8月~平成27年7月診療分で分析)

保健指導対象者状況

特定健診の受診者に占める特定保健指導の対象者の割合が年々減少している。

データヘルス計画書P8【表10 特定健診受診者数と特定保健指導対象者数の推移】

	特定健診受診者(人)	特定保健指導対象者(人)	特定保健指導該当率(%)
平成20年度	12,100	1,718	14.2%
平成21年度	10,286	1,149	11.2%
平成22年度	9,711	1,044	10.8%
平成23年度	9,734	1,069	11.0%
平成24年度	9,561	999	10.4%
平成25年度	9,729	988	10.2%
平成26年度	9,650	979	10.1%

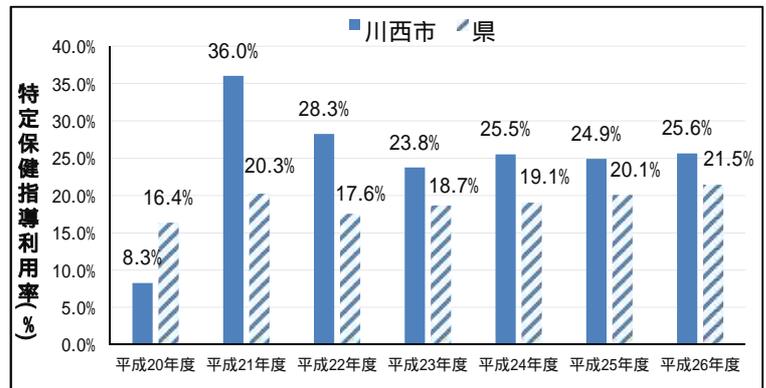


特定保健指導利用状況

平成26年度においても、県平均を約4%上回っているが、まだ全体の1/4の利用にとどまっている。

データヘルス計画書P9【表11 特定保健指導利用者数、利用率】

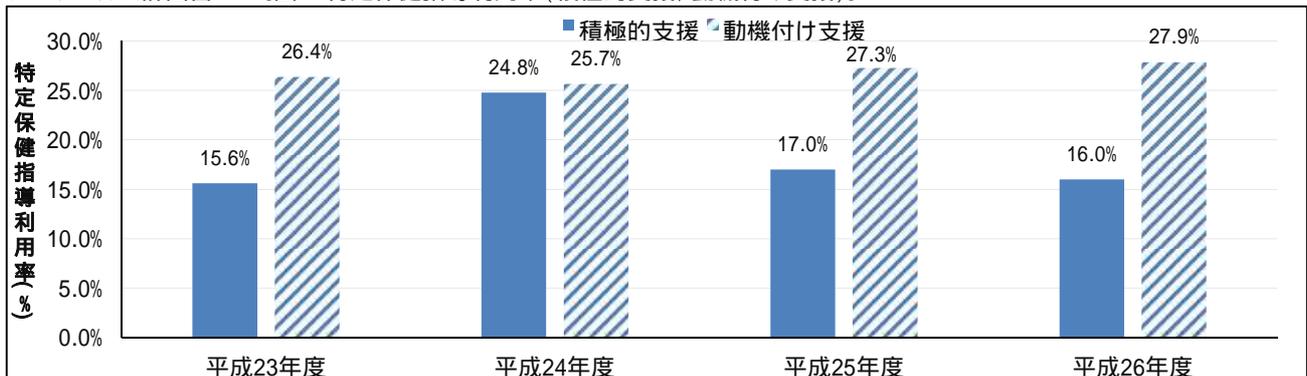
	対象者数(人)	利用者数(人)	利用率(%)	利用率(県平均)(%)
平成20年度	1,718	142	8.3%	16.4%
平成21年度	1,149	414	36.0%	20.3%
平成22年度	1,044	295	28.3%	17.6%
平成23年度	1,069	254	23.8%	18.7%
平成24年度	999	255	25.5%	19.1%
平成25年度	988	246	24.9%	20.1%
平成26年度	979	251	25.6%	21.5%



特定保健指導レベル別利用率

平成26年度においても、「積極的支援」の人の利用率が低くなっている。

データヘルス計画書P9【図7 特定保健指導利用率(積極的支援、動機付け支援)】



一人当たり医療費

平成26年度においては、県平均よりも428円下回る結果となっており、かつ前期高齢者の割合が高いことを考慮すると一人当たり医療費はかなり抑えられていると考えられる。

データヘルス計画書P11【表12 一人当たり医療費】

単位:円

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
川西市	被保険者全体	309,129	326,393	328,282	343,546	350,106
	対前年度比		1.0558	1.0058	1.0465	1.0191
	前期高齢者(65～74歳)	458,011	482,161	481,720	490,163	497,268
兵庫県	被保険者全体	316,531	326,274	332,525	340,536	350,534
	対前年度比		1.0308	1.0192	1.0241	1.0294
	前期高齢者(65～74歳)	501,095	510,338	513,335	516,041	518,864

兵庫県:国民健康保険の状況(速報)より

データヘルス計画書P11【表13 前期高齢者の加入率】

	川西市	県
平成22年度	40.20%	33.68%
平成23年度	39.94%	33.66%
平成24年度	40.99%	34.99%
平成25年度	42.73%	36.97%
平成26年度	44.62%	39.39%

兵庫県:国民健康保険の状況(速報)より

(3)施策一覧と平成27年度の実施状況

課題に対する保健事業の取り組みについての一覧を以下に示す。

	対応課題	事業名	事業の目的 および概要	平成27年度の実施状況
特定健診、特定保健指導の受診率の向上	1	特定健診受診者への 景品贈呈	【目的】市民の受診意欲の向上 【概要】特定健診の受診者へ景品を贈呈する。	特定健診及び人間ドック受診者の中から抽選で景品が当たるキャンペーンを実施した。
	1	特定健診未受診者への 勸奨はがきの送付	【目的】特定健診、特定保健指導の受診率向上 【概要】特定健診の未受診者に対して勸奨はがきを引き続き送付する。	特定健診未受診者16,732名に対し勸奨はがきを送付した。
	1、 3	地域イベントと特定健診の コラボレーション	【目的】地域と協力して特定健診、特定保健指導の必要性のアピール 【概要】特定健診を含めたイベントを行う団体に対して、イベント費用に補助金を出すことを検討する。	平成27年度は補助という形ではなく、地域で国保健康まつりを行うという形で実施。平成28年度に向けて調整中。
	1	特定健診の啓発チラシの 全戸配布	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】特定健診対象者の世帯にリーフレットを配布する。	特定健診の受診を勧めるリーフレットを40代、50代の被保険者がいる6,989世帯宛へ送付した。
	1	阪急バスでの車内放送による 特定健診の周知	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】阪急バスの車内放送にて特定健診の周知を行う。	阪急バスでの車内放送で特定健診の周知を行った。
	1	特定健診未受診者への 電話勸奨	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】特定健診の未受診者に対して電話勸奨を行う。	特定健診未受診者（50代）1,002名に対して保健師による電話勸奨を行った。
	1、 3、 6	国保健康まつりの開催	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】国保健康まつりの回数を2回に増加した。	国保健康まつりを2回開催した。（5月に多田第2自治会館、10月にアステ市民ホールで実施。）
	1	人間ドック費用の助成	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】被保険者の人間ドック費用を一部負担。	人間ドック費用の助成金の限度額を1,000円増額し、24,000円にした。また、人間ドック助成券の対象医療機関を従来の保健センター、市立川西病院に加えて、協立病院、ペリタス病院、九十九記念病院へと拡大した。
	1	がん検診費用の無料化	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】一部がん検診について被保険者の負担費用を無料にする。	がん検診費用の無料化を継続した。

	対応課題	事業名	事業の目的 および概要	平成27年度の実施状況
ハイリスクアプローチ	25	保健指導 (LDLコレステロール値 に基づく)	【目的】LDLコレステロール値が高い被保険者の減少 【概要】LDLコレステロール値等に 基づき対象者を特定し保健指導を実施。	LDLコレステロール値が180mg/d以上で脂質異常に関して医療機関に受診していない282名に対し、脂質異常重症化予防プログラムを案内するとともに、医療機関への受診勧奨を行った。
	25	特定健診結果及び 医療費の分析	【目的】リスクの高い者に対する保健指導や未罹患者に対する早期発見 【概要】生活習慣病罹患者の重症度やコントロール状況を詳細に分析し、具体的な施策を検討する。	データヘルス計画の見直しに向けてポテンシャル分析を行い、本市の特定健診結果や医療費の現状や傾向を分析し、次年度の保健事業内容を検討した。
	4	受診行動適正化事業	【目的】重複受診に伴うリスク等の減少 【概要】重複受診が確認できる対象者を特定し、訪問指導を行う。	1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者に対して、国民健康保険課職員と保健師が訪問を行った。
ポピュレーションアプローチ	1	健康づくり室と連携した 健康に対する意識向上の取組	【目的】健康への意識を向上 【概要】健康づくり室と連携した健幸マイレージ、きんたくん健幸体操の普及など。	健幸マイレージのポイント獲得のしくみに「健診受けたよポイント」を設け、特定健康診査や人間ドックの受診についてもポイント対象事業とした。
	4	ジェネリック医薬品の普及促進	【目的】ジェネリック医薬品の利用率向上及び医療費削減 【概要】ジェネリック医薬品について広く市民へ周知する。	ジェネリック医薬品希望シールを作成し、保険証の更新分の発送時や限度額適用認定証の発送時に同封した。
	6	飲食店へのカロリー表示依頼	【目的】市民の健康への意識向上 【概要】市内の飲食店へメニューにカロリー表示することを依頼し、ステッカーやMAPの作成でサポートする取り組みなどを検討する。	平成27年度未実施。
	全課題	データヘルス計画の周知	【目的】市民の健康への意識向上 【概要】データヘルス計画を公表・周知する。	データヘルス計画をホームページに掲載し、広く周知した。

3.計画の評価について

課題に対する評価方法について、一覧を以下に示す。

【課題1】に対する施策の評価

- ・特定健診の受診率(特に40歳・50歳代の受診率)
評価については法定報告の最終報告期限である平成28年10月以降に行い、来年度作成の見直し計画に掲載する。

【課題2】、【課題5】に対する施策の評価

- ・LDLコレステロールが高い指導対象者の医療機関受診率
LDLが高値である人に対する脂質異常重症化予防プログラムを開始したのが平成28年2月以降となるため、レセプトが確認できる平成28年5月以降に評価し、来年度作成の見直し計画に掲載する。

【課題3】に対する施策の評価

- ・特定保健指導の利用率
評価については法定報告の最終報告期限である平成28年10月以降に行い、来年度作成の見直し計画に掲載する。

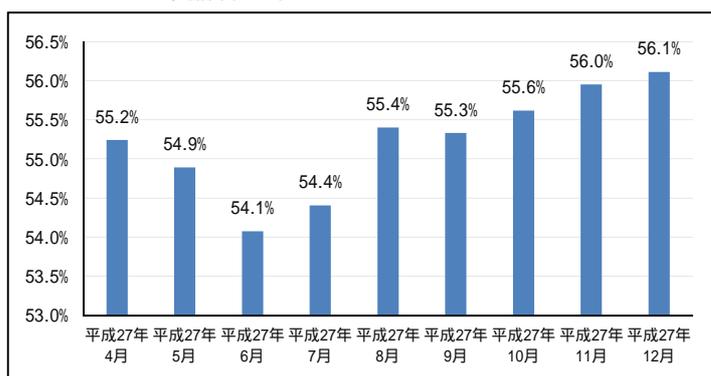
【課題4】に対する施策の評価

- ・ジェネリック医薬品の利用率
平成27年4月時点と比べると、12月時点では0.9%ジェネリック医薬品の利用率が上がっている。

ジェネリック医薬品利用実態

調剤月	医薬品利用数(後発医薬品が存在する薬のみ)		
	全体	ジェネリック医薬品	ジェネリック医薬品利用率(%)
平成27年4月	48,128	26,587	55.2%
平成27年5月	43,604	23,935	54.9%
平成27年6月	46,380	25,079	54.1%
平成27年7月	46,729	25,422	54.4%
平成27年8月	42,400	23,490	55.4%
平成27年9月	44,284	24,502	55.3%
平成27年10月	49,048	27,279	55.6%
平成27年11月	44,294	24,783	56.0%
平成27年12月	47,601	26,710	56.1%

ジェネリック医薬品利用率



【課題6】に対する施策の評価

- ・特定健診受診者の問診結果で「20歳時体重から10kg以上増加している」と回答した人の割合
評価については法定報告の最終報告期限である平成28年10月以降に行い、来年度作成の見直し計画に掲載する。

4.平成28年度に行うべき主な施策

LDLコレステロールが高値の人で医療機関に受診していない人に対する受診勧奨及び保健指導を継続実施する。

平成27年度のLDLコレステロール受診勧奨対象者の健診結果や医療機関への受診状況などを分析する。

糖尿病性腎症の重症化予防のために受診勧奨や保健指導を行う。

国保健康まつりの開催方法を変更し、地域イベントに合わせて特定健診を実施するものと、子連れで参加できるイベントを企画して特定健診を実施するものを新たに実施する。

川西市データヘルス計画書

- 見直し計画 -

平成28年3月

発行 川西市 健康福祉部 長寿・保険室 国民健康保険課

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号

TEL:072-740-2006

FAX:072-740-1176

E-mail:kawa0025@city.kawanishi.lg.jp